



U-13 東川トリオ  
(左から板谷智志君、渡辺友基君、阿部溪輔君)

「パスが通つていればゴール、という場面が何本もあった。相手との間に体を入れてボールを取れ！」。柴田コーチの聲が響きました。

7月30日、JリーグポラリスリーグU-13戦(北海道、東北、北信越のJリーグアカデミー8チームのリーグ戦)。ホームでの対戦相手は、コンサドーレ札幌ユース。1点



今年の副キャプテン、庄内巧真君(左) ▶

ランチ)。中盤に位置して相手を交わしながらボールコントロールし、反転攻撃につなげるチャンスメーカーの役割です。

板谷君は守備(DF)。相手攻撃を阻止し、ボールをFW(攻撃)につなげる役割。6月の対コンサ札幌ユース戦では相手DFの裏を突いてゴールをアシストしました。

◇ 昨年北海道カプスリーグ2部で

を先行したものの、後半得点機を生かせず「1-1」で引き分けました。町内から入団しているのは現在4人。U-13トリオの

阿部溪輔君(12)、板谷智志君(13)、渡辺友基君(12)と、チーム副主将の庄内巧真君(15)。いずれも東川サッカー少年団から育ちました。阿部君は中盤(MF)のサイドプレイヤー。スピードと体力、裏スペースからシュートにつなげチャンスを作る役割。

渡辺君はMF(ボ



### コンサドーレ旭川/ホームグラウンドはコンサフィールド東川(西町2丁目)事務所 ☎ 82-5910

コンサドーレ札幌のジュニアユースチーム(U-15=15歳以下)。2004(平成16)年旭川市内で結成。2008(同20)年、現在地にホーム移転。選手は49人。U-15(14-15歳) 16人、U-14(13-14歳)16人、U-13(12-13歳)17人。町内在団者は現在4人。昨年北海道カプスリーグ(U-15)2部優勝して今季1部再昇格(道内U-15、8チームで構成)。現在U-15チームは1部リーグ最下位。U-13チームは4位の好位置。

#### スタッフ陣(敬称略)

▶松山 育司(まつやま・いくじ) コンサドーレ札幌育成部チーフ、コンサドーレ旭川主務兼任コーチ。53歳。浜松市出身。静岡県立浜名高校卒業。ラドミロ・イバンチェビッチ監督の通訳としてコンサドーレ札幌入団(2002年)。2004(同16)年、コンサドーレ旭川立ち上げ時から同主務、9年目。

▶佐藤 尽(さとらう・じん) コンサドーレ旭川監督。5年目。室蘭市出身。37歳。国土館大学卒業。Jリーグ横浜フリューゲルス(現横浜F・マリノス)DF、京都サンガF.C.を経てコンサドーレ札幌選手(2002-2005年)。

▶柴田 慎吾(しばた・しんご) コンサドーレ旭川コーチ。今年2月着任。東京都青梅市出身。27歳。浜松大学卒業。Jリーグ柏レイソルユース出身。2008(同20)年コンサドーレ札幌入団、DF選手。J2のザスパ草津(選手)を経て、昨年コンサドーレ札幌のジュニアサッカースクールコーチ。

U-15優勝、チームは1部リーグに再昇格中。U-13メンバーは、1年目から強豪チームと対戦し、その中で技術を磨く戦いを続けています。

チーム内のU-13東川トリオの先輩格、庄内君は東川小3年生以来続けてきたサッカーに日々充実感を感じています。

「コンサドーレに入ってからうまくなっていることを実感できているので楽しい。パスでアシストしたり、シュートを決めたり、相手をだまし



J1公式戦「コンサドーレ札幌対ベガルタ仙台」の前座試合として札幌ドームに5年ぶり3度目の出場を果たしました。「コンサドーレ旭川U-13対ベガルタ仙台U-13」の対戦試合で(8月11日、札幌ドームで)

とハングリーにならないければ…。特に東川の子たちにはそれを感じる」。まだまだ伸びる可能性を持っているようです。

て抜いたり来たとき『やった』という感じ」。柴田コーチいわく、チームの現状は「みんな素直で一生懸命頑張る子たち。でものんびりしていて優しすぎる。もつ

## 今、生き生きと 53 | JFLコンサドーレ札幌アカデミー コンサドーレ旭川U-15

コンサフィールド東川(西町2丁目)がホームグラウンドになって8年目を迎え、コンサドーレ旭川は年々強いチームに変貌し始めている。目覚ましいのがU-13の成長。Jリーグアカデミーのポラリスリーグ戦績は現在4位と良い位置に付け、東川トリオの今後の成長が楽しみと気になるチームに成長していました。